

JILPT 資料シリーズ

No.244 2021年11月

Web提供型の簡易版職業適性評価ツール： 簡易版 G テスト（仮称）のプロトタイプ開発に係る報告

Web 提供型の簡易版職業適性評価ツール：
簡易版 G テスト（仮称）のプロトタイプ開発に係る報告

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

就職支援の現場で活用されるキャリアガイダンスツールは、従来適性検査のような紙ベースが主体だった。だが、現在では手軽に使えるカードタイプやシミュレーションタイプ、あるいは技術革新に伴って PC や Web 等の様々な形態が生まれ、活用が進んできている。厚生労働省は、2020 年 3 月に公開された「職業情報提供サイト（日本版 O-NET）」について翌 2021 年 2 月にサイトリニューアルを行い、キャリア選択のために利用する人向けに、手軽に活用できる自己理解支援ツールの公開を開始した。すなわち、Web 提供型のキャリアガイダンスツールへの社会的な要請も高まっているといえる。

本書の目的は、日本版 O-NET 上で今後追加的に提供される自己理解支援ツールの一つで、職業能力領域に関する Web 提供型の簡易版職業適性評価ツールの実験版（プロトタイプ）の開発過程について報告することである。研究開発のきっかけは、厚生労働省職業安定局首席職業指導官室から労働政策研究・研修機構へ要請された令和 2 年度課題研究であったが、それを受けて、労働政策研究・研修機構では、誰もが自由にアクセスすることのできる Web 提供型のキャリアガイダンスツールのあり方について検討と議論を重ね、研究的観点から適切に機能するプロトタイプの開発を行った。

研究開発の過程では、システムの出題機能を先行して開発し、そのシステムを使って Web モニターを対象とした解答データの収集調査を実施してきた。その後も、システムの信頼性・妥当性を検証するために、複数回の実験や調査を実施した。調査協力者全体の分布は、後に報告するように、当システムの礎である標準化データとして統計的処理を行うのに十分な性質を持っていることが確認されている。この開発中のシステムに対し、解答に真剣に向き合い、貴重で率直な意見をくださった多くの調査協力者の方々に心から御礼を申し上げたい。

本書の内容は、キャリアガイダンスツール開発の背景となる研究開発過程の記録である。本書の公表時点（2021 年 11 月）において、このプロトタイプを実装した Web ツールはまだ公開されていないが、今後公開された後に、本書の知見が、就職支援機関等でキャリア支援の実務にあたる方々にとって有益な情報となれば幸いである。

令和 3 年 11 月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 樋口 美雄

執筆担当者

氏名	所属	執筆担当章
深町 珠由	労働政策研究・研修機構 主任研究員	全章

Web 簡易版適性検査の開発に関する研究会

研究参加者（執筆者以外・五十音順）

氏名	所属
小松 恭子	労働政策研究・研修機構 研究員
田中 歩	労働政策研究・研修機構 統括研究員（令和3年4月～）
松原 亜矢子	労働政策研究・研修機構 統括研究員（～令和3年4月）
松本 純平	労働政策研究・研修機構 前特任研究員
松本 真作	労働政策研究・研修機構 前特任研究員
室山 晴美	労働政策研究・研修機構 特任研究員

目 次

第1章 本報告の背景と目的.....	1
1. 背景と目的	1
2. 本報告の構成	1
3. 本報告の要約	2
第2章 Web 提供型の簡易版職業適性評価ツールに関する概念設計.....	4
1. 検討された課題と概念設計	4
2. 開発するツールの内容と開発の進め方	6
3. プログラム開発業者の調達.....	8
第3章 スタート画面、出題機能および簡易結果表示画面の開発.....	11
1. スタート画面の内容.....	11
2. 検査 A	14
2. 検査 B.....	20
3. 検査 C.....	23
4. 【参考】検査 D.....	27
5. 簡易結果表示画面.....	30
第4章 ツールを使った就業者解答データ収集調査	31
1. 調査の目的	31
2. 方法	31
2-1 調査名および調査時期.....	31
2-2 調査対象者	31
2-3 調査方法	35
3. 結果	36
3-1 最終収集結果とデータクリーニング	36
3-2 回答者の属性.....	39
3-3 システムに対する評価.....	45
3-4 本人の状況に対する評価.....	46
3-5 回答環境とアクシデントについて	49
3-6 検査得点の特徴と基礎統計量	58
4. まとめ	67
第5章 尺度構成に関する検討.....	70
1. 尺度構成	70
1-1 各検査の分布状況の確認.....	70

1-2 年齢段階別検査得点の確認	73
1-3 検査得点に関する職業別特徴の確認	77
2. まとめ	81
第6章 尺度の信頼性・妥当性に関する検討	83
1. 信頼性に関する検討	83
1-1 方法	83
1-2 結果1：参加者の属性	85
1-3 結果2：信頼性係数の検討	89
1-4 結果3：事後アンケートの結果	92
2. 妥当性に関する検討	99
2-1 方法	99
2-2 結果1：参加者の属性	100
2-3 結果2：両検査の得点状況に関する検討	107
2-4 結果3：事後アンケートの結果	110
3. 信頼性と妥当性に関する検証結果のまとめ	119
第7章 結果表示付き自己理解支援ツール（完成版）の開発	124
1. システム完全版の流れ	124
2. スタート画面の改修	125
3. 簡易結果表示の改修と最終結果画面の新規作成	126
3-1 簡易結果表示の改修	126
3-2 最終結果表示画面①あなたの能力面の特徴	126
3-3 最終結果表示画面②能力の特徴から職業を探索	129
第8章 今後の課題	135
1. これまでの研究開発のまとめ	135
2. 今後の課題	136
付属資料	
Web モニター調査（職業別認知能力調査）の調査画面（調査票）	141
(1) スクリーニング調査画面	141
(2) 事後アンケート調査画面	153

※本報告に記載された会社名、製品名等は各社の商標または登録商標である場合がある。